第八十九回帝國議會 衆議院議事速記錄 第七回

衆議院議員選擧法中改正法律案外一件委員會議錄（速記）第七回

昭和二十年十二月十一日（火曜日）午前十一時二十八分開議

付託議案
衆議院議員選擧法中改正法律案（政府提出）（第一號）
昭和十三年法律第八十四號中改正法律案（大東亞戰爭ニ際シ召集中ノ者ノ選擧權及被選擧權等ニ關スル件）（政府提出）（第二號）
昭和二十年勅令第五百三十七號（衆議院議員選擧法第十二條ノ特例ニ關スル件）（承諾ヲ求ムル件）（第一號）

出席委員左ノ如シ

委員長 渭瀬 一郎君
理事伊藤 五郎君 理事大川 光三君
理事川口 壽君 理事坂本 一角君
理事保利 茂君 理事木下 義介君
理事原 玉重君
逢澤 寛君 伊藤 清君
今成留之助君 上田 孝吉君
金井 正夫君 神尾 茂君
漢那 憲和君 清 寛君
作田高太郎君 薩摩 雄次君
田子 一民君 田村 秀吉君
中村 梅吉君 羽田武嗣郎君
濱地 文平君 濱野 清吾君
林 信雄君 原 惣兵衞君
眞鍋 儀十君 松永 東君
山本 厚三君 今井 嘉幸君
今井 新造君 川島正次郎君
東條 貞君 中谷 武世君
中原 謹司君 永山 忠則君
船田 中君 牛塚虎太郎君
吉田貞次郎君 岡本傳之助君
星島 二郎君 河上丈太郎君
菊地養之輔君

出席國務大臣左ノ如シ

内務大臣 堀切善次郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務政務次官 川崎末五郎君
内務參與官 中 助松君
内務省地方局長 入江誠一郎君
内務書記官 鈴木 幹雄君
内務書記官 鈴木 俊一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

衆議院議員選擧法中改正法律案（政府提出）
昭和十三年法律第八十四號中改正法律案（大東亞戰爭ニ際シ召集中ノ者ノ選擧權及被選擧權等ニ關スル件）（政府提出）
昭和二十年勅令第五百三十七號（衆議院議員選擧法第十二條ノ特例ニ關スル件）（承諾ヲ求ムル件）

○濱瀬委員長 是ヨリ衆議院議員選擧法中改正法律案外二件ノ委員會ヲ續開致シマス、昨日ヲ以テ質疑ハ終局致シテ居リマス、是ヨリ討論ニ入リマスガ、委員長ノ手許ニ、木下郁君、原玉重君、原夫次郎君、御三名ヨリ修正ノ動議ガ出テ居リマス、順次修正案ノ說明ト併セテ討論ヲ御願ヒ致シマス、修正案ノ說明及ビ討論ガ終リマシタナラバ、無所屬議員倶樂部ノ木下君ヨリ討論ノミヲ御願ヒスルコトニ致シタイト思ヒマス——木下郁君

○木下（郁）委員 私ハ修正ノ動議ヲ提出致シマス、修正案ノ內容ニ付テハ、少シク長クナリマスガ、御手許ニ案ヲ配ル運ビニ至リマセヌノデ、一應朗讀致シマス、朗讀シツヽ其ノ修正ノ趣旨ヲ辯明シ、且ツ委員長ノ御話モアリマスルカラ、討論モ加ヘマシテ述ベタイト思ヒマス

先ヅ政府提出ノ原案ノ第二十七條ニ付キマシテ「第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム、選擧人ハ投票所ニ於テ左ノ區分ニ從ヒ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人又ハ數人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ」トアルノヲ、「左ノ區分ニ從ヒ」及ビ「又ハ數人」ヲ削リ、「一號乃至三號ヲ削除シマス、是ハ原案ノ採用シテ居リマスル制限連記及ビ選擧區ノ點ニ付キマシテ……尙ホ漏ラシマシタガ、此ノ第二十七條ニ關聯シテ、別表中ニ、東京、大阪、兵庫、新潟、愛知、福岡、北海道ト云フ七ツノ都道府縣ノ選擧區ガ二區ニナツテ居リマスノヲ一區ニスルト云フノガ修正ノ內容デアリマス、此ノ別表ノ修正ト、第二十七條ノ只今申シマシタ修正トハ、併セテ原案ノ採用スル制限連記及ビ選擧區制ノ一部分ノ都道府縣ヲ二區ニシテ居ルモノヲ改メヨウトスルモノデアリマス、其ノ理由ハ、折角大選擧區制ヲ採用シテ居ル以上、都道府縣ト云フモノガ、從來カラ政治的ニモ行政的ニモ、將又經濟的ニモ一ツノ生活範圍トシテ取扱ハレテ居ル事實、及ビ此ノ二區ニ分ケラレマシタ東京、兵庫、愛知、大阪ト云フヤウナ所ハ、戰災ニ因リマシテ市內ニ密集シテ居ツタ人達ガ、比較的ニ附近ニ散ツテ居リマス、斯様ナ人達ノ生活ノ根據ト云フモノハ、是ガ確定シタ譯デハナクテ、又近ク元ニ歸ルノデハナイカト云フコトモ豫想サレルノデアリマス、サウシテ今居ル所ハピツタリト生活ト一致シテ居ナイト云フコトモ考ヘマシテ、折角大選擧區制ヲ採用スルナラバ、其ノ趣旨ヲ徹底シテ、是等ノモノモ一選擧區ニスベキデアルト云フノガ、此ノ修正ノ趣旨デアリマス

尙ホ制限連記ノ點ニ付キマシテハ、後ニ申シマス當選人決定ノ方法ニ關スル第六十九條ノ場合ニ申上ゲルコトニ致シマス、今ノ第二十七條ノ修正ニ關聯シマシテ、大體手續上「第五十二條第一項中「左ノ投票」ヲ「第二十七條第一項第一號ノ規定ノ適用アル選擧區ニ於ケル投票ニシテ左ニ掲グルモノ」ニ改ム」トアルヲ削ルノデアリマス、ソレカラ第五十二條ノ二ノ規定ヲ削ル、是ハ只今申上ゲマシタ二十七條ノ修正ノ趣旨ヲ貫徹スル爲ノ技術的ナ修正デアリマス

次ハ「第五十八條一府縣又ハ一市一選擧區タル場合ニ於テハ其ノ地方長官又ハ市長、其ノ他ノ選擧區ニ於テハ地方長官ノ指定シタル官吏選擧長ト爲リ選擧會ニ關スル事務ヲ擔任ス」トアルノヲ「地方長官選擧長トナリ選擧會ニ關スル事務ヲ擔任ス但シ事情ニ依リ地方長官ハ他ノ官吏ヲシテ選擧長ニ指定スルコトヲ得」ト改メ、第六十四條但書中「第五十八條第一項第三號ノ規定ニ依リ」トアルヲ「第五十八條第一項第三號」ヲ「第五十八條但書」ニ改ム、是ハ今申シマシタ大選擧區制ノ徹底ノ爲ニ、原案ノ二區ニナツテ居ルモノヲ一區ニスル爲ニ、斯様ニ改メタ次第デゴザイマス

次ニ第六十九條第一項ヂアリマス、「第六十九條第一項中「有效投票ノ最多數ヲ得タル者」ヲ「得票最多數ノ者」ニ、「有效投票ノ總數」ヲ「各議員候補者ノ得票ノ總數」ニ改ム」トアルヲ「有效投票中第一位ノ多數ヲ得タル者ヲ第一順位ノ當選者トシ其ノ得票中次順位ノ者トノ差數ヲ其ノ當選者ト同一政黨ニ屬スル次順位ノ者ノ得票數ニ加算シ其ノ加算シタル得票數ト前記次順位者ノ得票數トヲ比較シ第二順位ノ當選者トシ以下同一方法ニ依リ同一政黨所屬ノ次順位得票者ニ第一順位以下ノ當選者ノ得票ヲ移譲シ定員數ニ達スル迄ノ得票ノ計算ヲ爲シ當選人ヲ決定ス」ト改メ、同條ノ末項トシテ「議員候補者ハ第六十七條第一項ノ屆出ノ日ニ所屬スル政黨アルトキハ之ヲ選擧長ニ屆出ヅベシ若シ右期日ニ本項ノ屆出ナキトキハ本條第一項ニ依ル得票ノ移譲ヲ受クルコトヲ得ザルモノトス」ノ一項ヲ加ヘル、是ガ修正案ノ最モ重要ナ點デアリマス、原案ノ採用シテ居リマスル制限連記ニ對シマシテ、選擧區ヲ單位トシタ比例代表制ヲ採ルモノデアリマシテ、一人一票制ト共ニ、之ニ依ツテ選擧民ノ意思ヲ反映セシメ、選擧ノ結果ニ表ハサントスルモノデアリマス

次ハ「第八十八條乃至第九十七條削除」トアルヲ「第八十八條及第八十九條削除」「第九十三條乃至第九十五條削除」「第九十六條及第九十七條削除」ト

改メ、第九十條及第九十一條中「選擧事務所」ヲ「選擧運動事務所」ト改ム「第九十八條第二項ヲ削ル」トアルヲ「第九十八條何人ト雖モ投票ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサルノ目的ヲ以テ戸別訪問ヲ爲スコトヲ得ス」二項トシテ「推薦狀引札等ニ依ル選擧運動ハ自筆ノ文書ニ限ル」ト改ム、是ハ原案ノ中デ削除シタ規定ヲ活カス爲ニ、斯ウ云フヤウニコシイコトニナツタノデアリマスガ、其ノ主ナ點ハ選擧運動事務所ヲ制限スル、原案デハ無制限ニナツテ居リマスルカラ此ノ選擧運動事務所ヲ制限スル、ソレカラ休憩所ヲ禁止スル、ソレカラ立候補届出前ノ選擧運動ノ禁止、第三者ノ選擧運動ヲ演說ニ重點ヲ置イテ、推薦狀、引札、ビラ等ニ依ル運動ヲ原則的ニ禁止シテ、自筆ニ依ルモノダケヲ許容スル、自筆ト致シマスルト、從來行ハレマシタヤウナ大規模ナ紙ノ氾濫ヲ見ルト云フヤウナコトハナクナルト云フコトヲ狙ツテ居ルノデアリマス

次ハ「第百條及第百條ノ二ヲ削ル」ト原案ニアリマスルモノヲ削除セズ、九十九條ノ二、三トシ、現行法百條及ビ百條ノ二ノ規定ヲ存續スル、是ハ內務大臣ガ選擧後ノ御禮狀ト云フヤウナモノヲ頒布スルコトヲ制限スル規定ヲ削除サレテ居リマシタガ、之ヲ活カスノガ主デアリマス

次ハ第百四條ノ規定ノ中一號乃至四號ヲ左ノ如ク改ム「二議員候補者カ乘用スル船車馬等ノ爲ニ要スル費用」「二議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ゼズシテ支出シタル費用」「三選擧期日後ニ於ケル選擧運動ノ殘務整理ノ爲ニ要シタル費用」是ハ選擧費用ニ加算シナイ費用ニ付テ、原案デハ選擧期日ノ公布又ハ告示アリタル日前ニ於ケル選擧運動ノ爲ニ要シタル費用ト云フモノヲ、此ノ選擧費用ニ加算シナイコトニシテアリマスルガ、先程申シマシタヤウニ、届出前ノ選擧運動ヲ禁止スルノデアリマスカラ、此ノ項ハ不必要デアリマス、ソレデ其ノ項ヲ削ツタノデアリマス

次ハ罰則ニ關スルモノデアリマシテ、「第百二十九條中「第九十五條ノ二、第九十六條第一項」、「若ハ第九十八條ノ二」及「又ハ第九十四條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサル者」ヲ削ル」トアルヲ「第九十五條ノ二、第九十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト改ム、「第百三十條削除」トアルヲ「第九十條乃至第九十二條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト改ム、「第百三十二條第一項中「第八十八條第五項乃至第七項又ハ第八十九條第四項」ヲ「第百條第五項乃至第七項」ト原案ニアリマスルモノヲ「第百條第五項乃至第七項ノ屆出ヲ怠リタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス、第九十九條ノ二、第九十九條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者又前項ニ同シ」ト改ム、此ノ部分ハ單ニ前ニ申シマシタ色色ノ修正ニ關聯致シマシテ、罰則ノ點ヲ事務的ニ技術的ニ改メタノデアリマス、要スルニ只今申シマシタ修正案ノ趣旨ハ、單記移讓式ノ得票ノ計算方法ニ依リマシテ、選擧區ニ於ケル選擧民ノ數ヲ按分シテ選擧ノ結果ニ反映セシメントスルノデアリマス、第二ノ重點ハ選擧ニ費用ガ掛ラナイヤウニスル爲メデアリマス、選擧ニ費用ノ掛ルト云フコトガ新人ノ進出ニ非常ナ害トナリ、且又其ノ半面ニ於キマシテ、選擧費用ガ掛ルト云フコトガ、所謂政治界ノ腐敗墮落ノ根本的原因ヲナスモノデアリマスルカラ、此ノ弊害ヲ除去シ、防止スル爲ニ、以上ノ修正案ヲ提出シタ次第デアリマス、連記ヲナスコト、殊ニ其ノ連記ノ人數ニ差等ヲ設クルト云フコトハ、選擧權ノ公平ト云フ根本原則ニ背クモノデアリマシテ、折角選擧權ノ擴張シナガラ之ヲ裏カラ見マスルナラバ、選擧權ニ差等ヲ設ケタ關係上、其ノ低イ選擧權ヲ持ツ者ハ、考ヘ方ニ依レバ選擧權ヲ一部分奪ハレタコトニナルノデアリマス、選擧權ノ擴張ノ結果ガ總體的ニ考ヘル場合ニ、縮小サレタト云フヤウナコトニ相成ルノデアリマスルカラ、一人一票而モ之ヲ比例代表ノ趣旨ニ從ツテ次票者ニ讓ルト云フコトニ致シタイノデアリマス、左樣ナ意味デアリマスルカラ、ドウカ議員諸君ノ御贊成アランコトヲ希望スル次第デアリマス

○清瀨委員長　原玉重君

○原(玉)委員　只今上程ニナツテ居リマス衆議院議員選擧法中改正法律案外二件ニ付テ、二、三ノ修正案ヲ提出スルト共ニ、自由黨ヲ代表シテ意見ヲ開陳シタイト思ヒマス、先ヅ修正案ヲ朗讀致シマス

衆議院議員選擧法中改正法律案修正案

一、別表ハ左ノ通リ修正ス

北海道、東京都及各府縣ヲ各一選擧區トシ議員數ハ各道都府縣ニ付キ原案ノ通リトス

二、第二十七條現行法通リトス

三、第五十二條現行法通リトス

四、第五十二條ノ二　削除

五、第五十二條ノ三　削除

六、第五十八條ヲ左ノ通リ修正ス

地方長官ハ選擧長トナリ選擧ニ關スル事務ヲ擔任ス

七、第五十九條ヲ左ノ通リ修正ス

選擧會ハ選擧長ノ屬スル都道府縣廳ニ之ヲ開ク

八、第六十四條但書　削除

九、第六十九條第一項本文ヲ左ノ通リ修正ス

當選人ハ勅令ノ定ムル所ノ單記移讓式比例代表ノ方式ニ依リ決定ス

十、第七十二條ヲ左ノ通リ修正ス

當選人定マリタルトキハ選擧長ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選人ノ氏名ヲ告示スベシ

當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選擧ニ於ケル議員ノ定數ニ達セザルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スベシ

十一、第七十九條ノ中

第三項　削除

第五項ヲ左ノ通リ修正ス

地方長官第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ闕員ト爲リタル議員ガ選擧ノ期日ヨリ一年以內ニ闕員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ選擧ノ期日ヨリ一年經過後ニ於テ闕員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラザリシ者アルトキ及同一人ニ關シ第七十五條ノ規定ニ依リ選擧ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外其ノ闕員ノ數當該選擧區內ノ議員ノ定數ノ四分ノ一ニ達スルヲ待チ最後ニ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以內ニ補闕選擧ヲ行ハシムベシ

十二、第百二十四條　現行法通リトス

十三、第百二十五條　現行法通リトス

之ヲ要スルニ、只今朗讀致シマシタ修正案ノ大要ハ三點ニ歸スルノデアリマス、第一ハ大選擧區ノ徹底デアリ、第二ハ投票樣式ニ付テ單記移讓式比例代表ヲ用ヒタ點デアリマス、第三ハ、百二十四條ト百二十五條ヲ內務省デ削除セラレントスルモノヲ現行法通リニショウ、此ノ三點デアリマス、今日ノ日本ノ情勢ニ於テ速カニ選擧法ヲ改正シ、最モ民主主義的ナ選擧ガ行ハレマシテ、新日本ヲ建設スベク、議會ヲ新タニシ、政府ヲ新タニスルコトハ最モ必要ナコトト考ヘマス、之ニ付テ內務省ニ於テ今回選擧法改正案ヲ提案サレタコトニ付テハ、其ノ勞ヲ多トスルモノデアリマス、殊ニ婦人ニ對シテ參政權ヲ與ヘ、選擧權、被選擧權ノ年齡ヲ低下スルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、清新發剌タル純眞熱烈ナ人ニ依ツテ從來ノ舊套ヲ打破出來テ、新シイ日本ノ建設セラレル第一步トナリ得ベキモノデ、心カラ大賛成ヲ表スルモノデアリマス、唯折角ノ此ノ內務省ノ御心勞ニ對シマシテ二、三不徹底ナ點、不條理ナ點ガアルノデ、之ヲ修正シタイト思フノデアリマス

第一ハ只今申上ゲマシタ選擧區制ノコトデアリマスガ、大選擧區制ガ宜イト云フコトニ付テハ、內務大臣モ本委員會ニ於テハツキリ申サレテ、議員候補者ノ選擇自由ガ增大スルトカ、固著セル選擧地盤ヲ打破出來ルトカ、廣汎ナ範圍內カラ國家的人物ガ選バレルカラ、是ガ宜イト云フ風ナコトヲハツキ

リ言ツテ居ラレルノデスガ、ソレナラバ何故大選擧區ニ徹底スルコトガ出來ナイノカ、北海道其ノ他七道都府縣ダケニ對シテ之ヲ二分シテ選擧區ヲ二ニシナケレバナラヌト云フ理由ガ頗ル曖昧デアリマス、委員會ノ初頭ニ於ケル內務大臣ノ說明モ、此ノ點ニ付テハ何等何故ニ二ツニシナケレバナラヌカト云フコトノ儼然タル說明ハアリマセヌ、唯從來幾ツモ選擧區ガアツタノヲ一ツスルノハ、是等ノ七ツノ府縣ダケハ餘リニ大キ過ギルカラト云フヤウナ漫然タル御答辯デアリマス、卽チ大選擧區ガソレ程宜イニ決マツテ居ルナラバ、徹底的ニソレニ徹シタラ宜カラウト考ヘルノデアリマス、何等カ此ノ七道都府縣ダケニ對シテ二分スルト云フノハ、確態依然タル所ノ片鱗ヲ現ハシテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ他社會黨カラノ御說明モアリマシタカラ、詳細ニハ申シマセヌガ、大選擧區ガ宜イト云フコトハ、政府ノ方デモ認明サレ、其ノ他ノ一般輿論ニ付テモ贊論ノ餘地ノナイ所デアリマスカラ、徹底的ニ七道都府縣ヲモ一選擧區トシテ、總テ大選擧區デヤツテ行キタイト云フノガ、修正案ノ第一點デアリマス

第二ハ單記移讓式比例代表ニ依ツテ投票ヲシヨウト云フノデアリマスガ、是モ亦政府ハ比例代表ニ依ル投票ガ理想デアルト云フコトハハツキリト申サレテ居ルノデアリマス、理想デアルケレドモ時期ガ尙早ダ、其ノ時期尙早ノ理由トシテハ、現在ノ政界ノ實情及ビ選擧人ノ政治訓練ノ程度デハ時期尙早ダ、斯ウ言ツテ居ラレルノデアリマスガ、是モ絕對ニ承認出來ナイ意見ダト考ヘマス、現在ノ政界ノ實情ト云フ風ナ御言葉ハ、政黨ノ關係ヲ言ハレテ居ルカト思ヒマスガ、政黨ハハツキリトシテ出來上ツテ居リマス、又選擧人ノ政治訓練ニ付テハ、此ノ選擧法說明ニ際シテ、婦人參政權、年齡低下ナドノ所ニ於キマシテハ、ハツキリト今日ノ狀態ガ國民ガ非常ニ進ンデ居ルト云フコトヲ表明サレテ居リマス、一寸朗讀シテ見マスト「教育、文化ノ普及狀況、一般民度ノ向上、特ニ戰時中ニ於ケル社會經濟的活動ノ實際ナドニ徹スルニ、近時青年ノ知識、能力著シク向上シ、今日滿二十歲ニ達シマシタ青年ハ、民法上ヲ行爲能力ヲ十分ニ有スルノミナラズ、國家參與ノ能力ト、責任觀念トニ於テモ、聊カモ缺クル所ナシト存ゼラル」ノデアリマス、斯ウ言ツテ居ラレルノデアリマシテ、是レ程國民ノ進歩シテ居ルモノト認メラレルニモ拘ラズ、唯投票樣式ニ際シテハ、未ダ尙早デアルト云フコトハ受取レナイ說明デアリマス、我々ハ政府ノ說明ニ於テモ言ハレタル通リノ理想案デアル比例代表ニ、一番世界ニ於テ學術的ニモ實際的ニモ大選擧區トスレバ比例代表ダ、此ノ定論ノアル比例代表制ヲ此ノ際用ヒタイト思ヒマス、制限連記ト云フモノヲ政府ガ採ツテ居ラル、ガ、是コソ殆ニ不合理極マルモノデアツテ、其ノ說明モナツテ居ナイト思ヒマス、殊ニ四人以下ノ人ニハ一票シカ投票スルコトガ出來ナイ、五人以上ハ二票、十一人以上ノ定員ノ選擧區ノ有權者ハ三票投票ガ出來ルト云フヤウナコトハ、不公平極マルコトデハナイカト考ヘマス、定員數ハ人口ノ別ニ依ツテ、公平ニ各選擧區ニ割當テテアリマス、隨テ議員ノ定數ガ多イカラト云ツテ、ソレハ人口ガ多イカラサウ云フコトニナルノデアリマシテ、定數ノ少イ選擧區ニ於テモ、各々日本人タル以上、一票ヅツ投票スルトカ、二票ヅツ投票スルトカ云フコトガ公平デハナイガト思ヒマス、其ノ他政府ハ此ノ制限連記制ヲ執ツテ色々ノ弊害ガ除去セラレルト言ハレタガ、私ハ選擧ノ結果ニ於テハ、斷ジテサウデハナイト思フノデアリマス、殊ニ既ニ明治二十三年ニ實行サレタ古イモノヲ、コヽヘ持ツテ來テ、實行シヨウ、逆戻リヲシヨウト云フヤウナ此ノ方法ニ對シテハ、斷ジテ贊成ガ出來ナイモノデアリマス、此ノ憲法附屬ノ大法令デアル選擧法ヲ改正シテ、新日本建設ニ乘リ出ス段モ第一步デアル基礎トナル大切ナ選擧法改正ニ當ツテハ、飽マデモ理想的ナ世界ノ定評デ決マツテ居ル比例代表ニ依ツテ發足ヲ致シタイト云フノガ我々ノ念願デアリマス

修正ノ第三ハ、第百二十四條ト第百二十五條ヲ現在通リニスルト云フ案デアリマスルガ、是ハ又政府ガ餘リニモ聯合軍ノ主張スル所ニ阿ネラレタノカ、自由ト云ヲ解釋ヲ餘リニ廣ク用ヒラレタノカ、聊カ行過ギノ觀ガアルノデハナイカト思ヒマス、卽チ百二十四條ハ氣勢ヲ張ルコト、百二十五條ハ犯罪ヲ煽動スルコトヲ禁ジタ法令デアリマス、犯罪ヲ煽動スルコトヲ禁ジタ法令ヲ幾ラ自由主義ノ世ノ中ダト云ツテモ、是カラハヤツテモ宜イ、許スト云フコトハ、甚ダ腑ニ落チナイ話デアリマス、殊ニ百二十四條ノ氣勢ヲ張ルコトヲ禁ジタ法令デアリマス、犯罪ヲ煽動スルコトヲ禁ジタ法令ヲ幾ラ自由主義ノ世ノ中ダト云ツテモ、是カラハヤツテモ宜イ、許スト云フコトハ、甚ダ腑ニ落チナイ話デアリマス、殊ニ百二十四條ノ氣勢ヲ張ルコトヲ禁ジタ法令デアリマス、最モ日本式ニ考ヘテ、良イ法律デハナイカト思ヒマス、成程外國ノ立法例ニハナイカモ分リマセヌガ、斯ウ云フ公ノ下、最モ愼重ニ行ハナケレバナラヌ所ノ選擧權ノ行使ニ對シテ徒ラニ喇叭ヲ吹イタリ、煙火ヲ揚ゲタリ氣勢ヲ擧ゲテ、サウシテ以テ選擧ノ結果ニ影響サセヨウト云フヤウナコトハ是ハ愼シマナクテハナラヌコトデハナイカ、是コソ日本人ノ本質ニ合ツタモノダ、斯ウ云フコトヲセズニ、眞面目ニ選擧ヲ行フト云フコトガ日本式デアリマシテ、此ノ法律ダケデモ、殘シテ置イテ然ルベキデハナイカト思フノデアリマス

以上三點ニ付テ修正ヲ致シタイ、斯ウ思フモノデアリマスガ、社會黨又ハ進歩黨ノ方ニ於テハ、其ノ上選擧運動ニ付テ折角政府ニ於テ解放シ自由ニサセヨウト云フ案ニ對シテ元ヘ戻ツタ修正ヲ行ハウトサレルヤウデアリマスガ、是ハ自由黨トシテハ斷ジテ贊成ノ出來ナイコトデ、斯クノ如キ面倒臭イ取締規則ヤ運動方法ノ制限ガアレバコソ、今マデ民意ヲ抑ヘラレ、國民ハ選擧カラ遠ザカリ、選擧ト云フモノガ別物ニナルヤウナ形ニナルト同時ニ、此ノ面倒臭イ規定ガアルガ爲ニ、之ヲ選擧干渉ノ第一步トシテ振廻サレテ、僅カナル形式犯位デ先ヅ警察ニ引張ツテ留置シ、ソレカラ段々ト人權蹂躙ヲ行ツテ、選擧ニ干渉スルト云フコトガ行ハレタコトハ明カナコトデアリマス、是ハ恐ラク內務省デモ其ノ惡弊ヲ認メラレテ、面倒臭イ取締規則ヤ運動方法ノ制限ヲ撤廢サレタモノト思ヒマスガ、進歩黨其ノ他ノ皆サンモ此ノ點ニ付テハ一ツ想ヒヲ新ニシテ、內務省案ニ贊成サレンコトヲ希望スルモノデアリマス、私ハ其ノ他ノ內務省ノ解放的ナ修正ニ付テハ贊成ヲシタイト思フモノデアリマス、尙ホモウ一點事前運動ニ付テ申上ゲマスト、是モ亦進歩黨、社會黨ニ於テハ折角政府ニ於テ解放シヨウト言フノニ又元ヘ戻ツテ之ヲ藝ズルト云フ風ニ修正サレントシテ居ルノデアリマスガ、一體事前運動ト云フモノハ何モノナルカト云フ判別ガ問題デス、ザツクバランノ解釋ノ仕方ニ依ツテハ、苟クモ選擧ヲヤラウトスル人ノ一擧一動毎日ノコトガ選擧運動カトモ解釋出來ルノデアリマス、隨テ政府ガ干渉ヲシヨウト云フ場合ニ於キマシテハ、斯クノ如キ規定ガアリマスレバ、必ズソコニ附ケ込マレルヨトニナルノデアリマス、選擧事前運動ノ規定ガアレバ決シテ半年、一年前カラ買收シタリ弊害ニナルヤウナ運動ヲスルカラト言ツテ國民ハ之ヲ受入レマセヌ、コンナ不眞面目ナコトニコソ却テ厭氣ノ差サレルモノデアリマシテ、ソンナ心配スル程事前運動ガ行ハレルモノデハナイト考ヘマス、其ノ意味ニ於キマシテ、是レ亦大イニ自由的ニ解放シテ內務省案ノ通リ事前運動ハ取締ラナイト云フ風ニ致シタイト思フノデアリマス、之ヲ要スルニ以上申シマシタ三點ニ修正ヲ加ヘ、其ノ他ハ內務省ノ此ノ案ニ贊成ヲシテ、本案ヲ成立サセタイト思フモノデアリマス、尙ホ其ノ他ノ本委員會ニ提案サレテ居ル昭和十三年法律第八十四號中改正法律案、昭和二十年勅令第五百三十七號、承諾ヲ求ムル件ニ付テモ原案通リ異議ノナイモノデアリマス、以上修正案ノ理由說明ト意見ノ開陳ヲ終リマス

〔「休憩々々」ト呼ブ者アリ〕

○清瀨委員長　一寸、時間デスカラ休憩シテ、午後一時ヨリ開會致シマス

午後零時九分休憩

午後二時三分開議

○清瀨委員長　是ヨリ衆議院議員選擧

法中改正法律案外二件ノ委員會ヲ續開致シマス――原夫次郎君

○原(夫)委員　私ハ我ガ進歩黨ヲ代表致シテ修正案ヲ提出致シマス、修正案ノ箇條ハ多少多岐ニ亙ル點ヲ恐レマシテ、先ヅ修正ノ條文カラ修正ノ箇所ヲ示シ、次ニ大體ノ要約シタル點ニ付キマシテ其ノ理由ヲ附加ヘタイト存ジマス、申上ゲマスル便宜上、此ノ度ノ政府提出ノ選擧法中改正法律案ヲ原案ト指稱致シ、舊文ヲ現行法ト稱シタイト存ジマス、先ヅ政府提出ノ原案ノ「第二十七條第一項ヲ左ノ如ク改ム　選擧人ハ投票所ニ於テ左ノ區分ニ從ヒ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人又ハ數人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ」其ノ中ノ議員候補者「一人又ハ數人」ト云フ文字ヲ削ルノデアリマス、ソレカラ次ニ同條ノ「一選擧區ニ於テハ一人」トアルノヲ削リ、改メテ一トナシ、二トアルノヲ削ルノデス、「一選擧スベキ議員ノ數六人以上十人以下ノ選擧區ニ於テハ二人以内」トアル規定中「六人以上」ト云フ文字ヲ削ルノデアリマス、次イデ三トアルノヲ二ニ改メ、「二選擧スベキ議員ノ數十一人以上ノ選擧區ニ於テハ三人以内」、是ガ二ノ規定デアリマス、而シテ「第五十二條第一項中「左ノ投票」ヲ「第二十七條第一項第一號ノ規定ノ適用アル選擧區ニ於ケル投票ニシテ左ニ掲グルモノ」ニ改ム」之ヲ全部削ルノデアリマス、隨テ第五十二條ト致シマシテ原案ノ「第五十二條ノ二第二十七條第一項第二號又ハ第三號ノ規定ノ適用アル選擧區ニ於ケル投票(以下連記投票ト稱ス)ニシテ」ト其處マデ初メカラ削ルノデアリマス、次イデ「左ニ掲グルモノハ之ヲ無效トス」トアル中デ、「モノ」ノ二字ヲ「投票」ト云フコトニ改メルノデアリマス、是ハ結局原案ノ「第五十二條ノ二」ヲ唯單純ニ「第五十二條」ト改メマシテ、其ノ規定中、前段申上ゲマシタ點ヲ削ツテ、左ニ掲グル投票ハ之ヲ無效トス」斯ウ云フコトニナルノデアリマス、續イテ原案ノ一、二、三ハ其ノ儘ト致シ、其ノ次ニ「連記投票中ノ左ニ掲グル氏名ノ記載ハ之ヲ無效トス」ト云フ前段ノ「連記投票中ノ」ヲ削ルノデアリマス、次イデ「一第二十七條第二號又ハ第三號ノ規定ニ依リ選擧スベキ議員ノ數ヲ超エ記載シタル末尾ノ氏名」斯ウ原案ニ規定致シタ分ニ付テ「第二十七條第二號又ハ第三號ノ規定ニ依リ」ト云ツ此ノ文句ヲ削リマシテ、結局「一選擧スベキ議員ノ數ヲ超エ記載シタル末尾ノ氏名」斯ウ云フコトニ改ムルノデアリマス、次イデ二、三、四、五ノ規定ハ其ノ儘ト致スノデアリマス、之ニ續イテ「前項第五號ノ規定ハ第七十五條又ハ第七十九條ノ規定ニ依ル選擧ノ場合ニ限リ之ヲ適用ス」是ハ變ラナイノデアリマス、其ノ次ノ末項ニ「第五十三條ノ三」トシテ「投票ニ同一議員候補者ノ氏名ノ二以上ノ記載アルトキハ之ヲ一ノ記載ト看做ス」斯ウ規定シテアルノハ、規定其ノモノハ其ノ儘ニ致スノデアリマスガ、其ノ上ニ被セテアル「第五十二條ノ三」ヲ「第五十二條ノ二」ト改ムル順序ニナルノデアリマス、次ニ第八十八條、是ハ全部削除デアリマス、次ニ第八十九條、是ノ本文ハ其ノ儘ニ致スノデアリマスガ、其ノ但書ノ規定ニ依ル」ヲ削ルノデアリマス、ソレカラ第九十八條ノ二及ビ第九十八條ノ三ヲ削ル、ソレカラ第九十八條ノ二ノ「第百條」ヲ「第百一條」ト直スノデアリマス、其ノ條文ダケデアリマス、只今修正致シタ第百條ヲ第百一條ト改メタ條文ハ隨分長イノデアリマスガ、其ノ中ノ第五項ニ修正意見ガアルノデアリマス、即チ「支出責任者ノ選任者(自ラ支出責任者ト爲リタル者ヲ含ム)ハ直チニ其ノ旨ヲ選擧區内警察官署ノ一ニ屆出ヅベシ」トアルノヲ「直ニ其ノ旨ヲ」以下ヲ修正致シマシテ、「第八十九條第二項ノ屆出アリタル警察官署ニ屆出ヅベシ支出責任者ニ異動アリタルトキ亦同ジ」斯ウ云ノ風ニ修正致スノデアリマス、ソレカラ第六項ヲ削リマス、ソレカラ「第百條ノ二」トアルヲ「第百一條ノ二」ト改メマシテ其ノ規定自身ハ修正ヲ致サナイノデアリマス

次ニ「第百一條」ヲ「第百一條ノ三」ト改メマシテ、原案ハ「立候補ノ屆出アリマス、第九十五條ヲ削ツテ「第九十五條」トスルノデアリマス、第九十六條及ビ第九十七條ハ全部削ルノデアリマス

(「モット明瞭ニ分ルヤウニ言ツタラドウダ」「原案ニ削除シテアルノヲモウ一遍削ルト云フ意味ハドウ云フ意味カ分ラナイ」「進行々々」ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ)

○清瀬委員長　御聽キヲ願ヒマス

○原(夫)委員　ソレハ後デ速記錄ヲ見ラレタラドウデセウカ――ソレカラ第八十八條乃至第九十七條ハ結局削除ニナルノデアリマス、第九十八條ノ二中「第九十六條第一項但書ノ規定ニ依ル」之ヲ削ル、ソレカラ第九十八條ノ三ヲ削ル、ソレカラ第九十八條ノ二及ビ第九十八條ノ三ヲ削ル、第百條及ビ第百條ノ二ヲ削ル、第十一章中第百一條ノ前ニ左ノ二條ヲ加フ、「第百條」ヲ「第百一條」ト直スノデアリマス、其ノ條文ダケデアリマス、只今修正致シタ第百條ヲ第百一條ト改メタ條文ハ隨分長イノデアリマスガ、其ノ中ノ第五項ニ修正意見ガアルノデアリマス、即チ「支出責任者ノ選任者(自ラ支出責任者ト爲リタル者ヲ含ム)ハ直チニ其ノ旨ヲ選擧區内警察官署ノ一ニ屆出ヅベシ」トアルノヲ「直ニ其ノ旨ヲ」以下ヲ修正致シマシテ、「第八十九條第二項ノ屆出アリタル警察官署ニ屆出ヅベシ支出責任者ニ異動アリタルトキ亦同ジ」斯ウ云ノ風ニ修正致スノデアリマス、ソレカラ第六項ヲ削リマス、ソレカラ「第百條ノ二」トアルヲ「第百一條ノ二」ト改メマシテ其ノ規定自身ハ修正ヲ致サナイノデアリマス

次ニ「第百一條」ヲ「第百一條ノ三」ト改メマシテ、原案ハ「立候補ノ屆出アリタル後ニ於テハ議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ゼズシテ支出スル費用ヲ除クノ外選擧運動ノ費用ハ支出責任者ニ非ザレバ之ヲ支出スルコトヲ得ズ」云々トアルノデアリマスルガ、其ノ冒頭ノ「立候補」以下「ノ屆出アリタル後ニ於テハ」ト云フ文字ヲ改メマシテ「準備ノ爲ニ要スル費用及」トシ、同條ヲ第百一條ノ三トスル、斯ウ改メルノデアリマス、ソレヲ棒讀ミ致シマスト「立候補準備ノ爲ニ要スル費用及議員候補者」云々ト云フコトニ繼續スルノデアリマス

次ニ第百四條、是ハ原案ハ「左ノ各號ニ掲グル費用ハ之ヲ選擧運動ノ費用ニ非ザルモノト看做ス」斯ウ云フ規定ノ内容デアリマスガ、ソレニハ一、二、三、四號マデアリマシテ、其ノ第一號モ第二號モ原案通リデアリマス、第三號ノ「議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ゼズシテ支出シタル費用(立候補ノ屆出前ニ於テ其ノ者ト意思ヲ通ゼズシテ支出シタル費用ヲ含ム)」之ヲ全部改メマシテ「第六十七條第一項乃至第三項ノ屆出アリタル後議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ジテ支出シタル費用以外ノモノ」是ダケニ修正致スノデアリマス、ソレカラ次ノ第四號ヲ修正スルノデアリマスガ、原案ノ「議員候補者ガ乘用スル船車馬等ノ爲ニ要シタル費用(其ノ者ノ立候補ノ屆出前ニ於ケル當該費用ヲ含ム)」之ヲ全部削除シテ「立候補準備ノ爲ニ要シタル費用ニシテ議員候補者若ハ支出責任者ト爲リタル者ノ支出シタル費用又ハ其ノ者ト意思ヲ通ジテ支出シタル費用以外ノモノ」是ダケニ修正ヲ致スノデアリマス

次ニ第百六條第一項中ニ「選擧事務長」ヲ「支出責任者」ニ、「第八十八條第五項」ヲ「第百條第五項」ニ改ムトアルノヲ「第百一條第五項」ニ修正ヲ致スノデアリマス

次ニ第百九條中「選擧事務長」ヲ「支出責任者」ニ、「第九十五條」ヲ「第百條ノ二」ニ改メ「選擧事務所、選擧委員、選擧運動ノ爲使用スル勞務者其ノ他ニ關スル事務ト共ニ」ヲ削ルト云フ原案中、條文ノ整理ノ爲ニ「第百條ノ二」ヲ「第百一條ノ二」ニ改ムルコトデアリマス

次ニ「第百十六條第一項中「選擧事務長若ハ選擧委員」ヲ「若ハ選擧運動者」ニ、「選擧事務所」ヲ「選擧運動事務所」ニ改ムト云フ原案中、後ノ「選擧事務所」ヲ「選擧運動事務所」ニ」ト云フノヲ削リマシテ、直チニ前ヲ承ケテ、「若ハ選擧運動者」ニ改ムト云フコトニナルデノアリマス

ソレカラ次ノ第百二十四條及ビ第百二十五條ハ削除ニナルノデアリマス、是ハ原案デアリマスガ、ソレハ其ノ儘ト致シテ、其ノ次ノ「百二十九條中「第九十五條ニ、「第九十六條第一項」ヲ「若クハ第九十八條ノ二」及「又ハ第九十四條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサル者」ヲ削ル」ト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ中ニ「若ハ第九十八條」ト云フノヲ「第九十五條」ニ改ムト云フ修正ナノデアリマス、是ハ條文ノ整理ニ過ギナイノデアリマス、ソレカラ「第百三十條第二項ヲ削ル」斯ウ云フコトニ整理ニナルノデアリマス

ソレカラ「第百三十一條第一項中「第八十八條第五項乃至第七項又ハ第八十九條第四項」ヲ「第百條第五項乃至第七

項」ニ改メ同條第二項ヲ削ル」ト云フ原案ノ規定ヲ第百條第五項最後ノ點ヲ「第八十九條第二項又ハ第百一條第五項若ハ第六項」ニ改ムルノデアリマス

次ニ「第百三十四條中「一年以下ノ禁錮」ノ下ニ「又ハ五百圓以下ノ罰金」ヲ加フ」ト云フ原案ノ規定中「第百一條」ヲ「第百一條ノ三」ニ改ムルト云フコトデアリマス

ソレカラ「第百四十條第一項中「選擧事務長」ヲ「推薦届出者ニ改ム」トノ原案ノ規定ニ「左ノ二項ヲ加フ」ト云フ修正案デアリマス、即チ「地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ議員候補者ノ氏名黨派別ヲ新聞紙ニ公告スベシ」モウ一ツ加ヘマシテ「市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ議員候補者ノ氏名等ノ掲示ヲ爲スベシ」是ダケヲ附加スルノデアリマス

最後ニ「沖繩縣北海道廳根室支廳管内」云々ト云フ此ノ附則ノ次ニ「前項ニ掲グル地域ニ於テ初テ行フ選擧ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ原案ノ規定デアリマスガ、其ノ最後ノ「必要ナル事項」ノ上ニ「選擧ノ方法其ノ他」ト云フ文字ヲ加ヘテ以下「必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ定ム」ト云フ勅令事項ヲ加ヘタ譯ニナルノデアリマス

以上ヲ以テ大體修正ノ結果、條文ノ整理等ノ點ヲ併セテ開陳致シテ置キマシタ、結局此ノ修正ヲ要約致シマスルナラバ、我ガ黨ノ修正要綱ハ、第一ニハ、立候補届出前ノ選擧運動之ヲ禁止ス、是ハ現行法ノ第九十五條ノ二ノ規定デアリマス

第二ニハ、現行法ノ第百二十四條、第百二十五條ニ該當スルモノデアリマスガ、氣勢ヲ張ル行爲トカ不法行爲ヲ煽動スル行爲ハ是ハ現行法ノ通リニ之ヲ禁止スルト云フ修正案デアリマス、第三ニハ事務所ノ制限ハヤハリ存スルコトト致シテ、原則トシテ一箇所、但シ命令ノ定ムル所ニ依ツテ、若干箇所マデ增設ヲ認メル、又選擧當日投票所入口ヨリ三町以内ニ設ケザルコトハ現行法通リト致ス、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス

第四ニハ、休憩所其ノ他之ニ類似ノ設備ハ禁止スル

第五ニハ、選擧公報ノ發行ニ關シテハ内務省ノ方針ニ依ルコトト致シ、選擧公報以外ノ候補者ノ文書ノ頒布ハ禁止スルコト

ソレカラ第六ニハ、無料郵便ハ今回ニ限ツテ廢止スルコトトシテ、之ニ代ヘテ公營ニ依リ各候補者ニハ同一條件ヲ以テ新聞公告ヲナス

第七ニハ、立看板及ビ立候補告知ノ爲メノ貼札ハ禁止スルコトトシテ、公營ニ依リ各市町村内適當ノ場所ニ連名掲示ヲナスコト

第八ニハ、演說會ノ告知ハ、候補者開催ノ分モ第三者ノ分モ、貼札ノミヲ用ヒ、貼札ノ數ハ制限シナイ、唯其ノ大キサハ四ツ切リ（新聞紙一頁大）トス

斯ウ云フコトデアリマスガ、尙ホ此ノ第百條ノ問題ニ付キマシテハ、現行法ノ第百條ヲ存置スル結果、選擧運動ノ爲ニ頒布シ又ハ掲示スル文書、圖書ニ關シ、命令ヲ以テ制限ヲ設クルニ當リ、政府ハ第三者ノ推薦ハ郵便物ニ依ル以外ハ之ヲ禁止スルヤウ規定セラレタイト云フ希望デアリマス、即チ第三者ハ新聞廣告、撒キ「ビラ」等ニ依ツテ選擧運動ヲナシ得ザル旨ノ規定ヲ設ケラレンコトヲ特ニ强ク政府ニ要望スルノデアリマス

ソレカラ現行法ノ百條ノ二デアリマシテ、即チ修正案ノ第九十致シテ、選擧事後ノ挨拶ハ張札二百枚ニ限ル、ソレカラ挨拶文書ノ頒布ノ取止メ、自筆ノ禮狀ニスル、是ハ現行法第百條ノ二ノ規定ヲ廢止セズシテ、九十八條ノ三ニ同一規定ヲ設ケテ内務省令ヲ以テ此ノ規定ヲ設クル順序ト相成ルベキモノデアリマス

ソレカラ第十二、原案ノ制限連記制ノ趣旨ヲ認メルコトト致スガ、原案ノ定員割ノ制度ハ詰リ五名以下ノ定員制ノ所デハ、投票權ト申シマセウカ、投票ヲ連記セズシテ單記ニスルト云フノヲ、十名以下ニハ二名連記トスル、即チ二名ト三名ノ所ハ原案ノ通リニスル、斯ウ云フ修正ノ趣旨デゴザイマス

大體以上ノ修正ノ事項ニ付キマシテ政府提案ノ理由トセラレル主ナル點ノ、言フマデモナク大選擧區制ナリ、又選擧權ノ擴張ナリ、就中婦人參政權ナドノ點ニ付キマシテハ、政府原案ニ贊成ヲ致シマシテ、結局選擧運動ニ關スル點ニ付テ色々意見ノ異ツタ點モアツタノデアリマスガ、大體此ノ大選擧區制ハ殆ド大多數異論ノナカツタ所デアリマシテ（「黨内報告デヤナイ」ト呼ブ者アリ）イヤサウデヤナイ、チヤント理由ヲ述ベル、以上述ベマシタ修正點ノ主ナルモノガ此ノ連記制ヲ認メルカドウカ、原案ノ通リデ宜シイカドウカト云フ點ニ集中致シマシタ觀ガアツタノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、大體ニ於テ此ノ修正ノ見地カラ申シマシテモ、連記制ナルモノヤハリ有權者一人ガ一票ヲ行使スルト云フ建前デアルコトハ言フマデモナイ、唯選擧ノ方法ニ依ツテ全國ノ有權者ガ總テ人數ニ依ツテ均衡ヲ得ルト云フ大體ノ建前ヲ我ガ黨ハ堅持致シタノデアリマス、隨テ是マデ五人以下ノ所デ一票均等ニ連記制ヲ認メナイト云フコトハ不合理ナルト同時ニ、又均衡ヲ得ルト云フ點ニ付テ甚ダ差別待遇ノヤウナ觀ガ行ハレタノデアリマスカラ、此ノ點ハヤハリ均衡ヲ得セシムル、之ニ依ツテ國民ヲ滿足サス、又輿論ノ暢達モ之ニ依ツテ行ハル、コトトナルト云フ見地カラ、我々ハ此ノ修正ヲ出スニ至ツタ次第デアリマス、以上ヲ以テ、我々ノ修正案ニ贊成アランコトヲ希望致シマス（拍手）

○清瀨委員長　討論ノ通告ガアリマス——木下義介君

○木下（義）委員　無所屬俱樂部ト致シマシテハ別ニ修正案ヲ提出ハ致シマセヌ、併シ本委員會ニ付議セラレテ居リマス衆議院議員選擧法中改正案ハ憲法附屬ノ重要ナル法律デアリマスノデ、各條項ニ亙ツテ愼重ナル檢討ヲ加ヘ、内部ニ於テ幾多ノ論戰ヲ戰ハシタコトハ勿論デゴザイマス、只今進歩黨、自由黨、社會黨ヨリ修正案トシテ提出ヲ致シテアリマスル各案ニ付テ共通ノ修正事項ニ付キマシテ、無所屬俱樂部ノ大多數ガ異議ノナイ所デアリマス、重要ナル點ニ付テノ意向ノ大要ヲ申上ゲマスレバ、進歩黨ト社會黨ノ共通ノ修正案ニ相成ツテ居リマス立候補前ノ選擧運動ヲ禁止スル事項ニ付テハ、全員贊成ヲ致シマス、次ニ投票ハ單記無記名トスルコトガ大多數ノ贊成デアリマシテ、少數ハ制限連記制ノ原案ニ贊成致ス者ガアリマス、選擧區ハ一貫シテ大選擧トスルト云フノガ全員ノ意向ト認メテ居リマス

以上ガ概要デアリマシテ、此ノ際私ハ、近ク行ハルベキ總選擧ニ致シマシテ、官廳トシテ總選擧ノ任ニ當ラレマス内務大臣ニ對シテ數箇ノ點ニ付テ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

第一ノ問題ハ治安ノ問題デゴザイマス、委員會ニ於ケル御答辯ニ依リマシテモ、内務大臣トシテモ、今日ノ我ガ國ノ現在ノ警察機構ト其ノ内容ヲ成シテ居リマスル警察官ノ數ヲ以テ、治安ニ對シテ、十分ノ御確信ハアルト思ヒマスルケレドモ、現狀ヲ以テハ御滿足ノ程度デハナイト諒承シタノデアリマス、前内閣ニ於テ增員其ノ他ニ付テ交涉シタケレドモ、總司令部ノ拒否セラレル所トナツテ、未ダ遂シ返シテ要請スル時期デハナイト云フ御答辯ヲ得タノデアリマスルガ、私ノ見マスル所ニ依レバ、今日ノ社會狀態ハ或ハ不幸ニシテ是レ以上ノ憂フベキ狀態モ相成リハシナイカト考ヘラレマスルノデ、此ノ點ニ付キマシテハ更ニ特段ノ御檢討ヲ加ヘラレマシテ、治安ノ問題ニ付テ我々ガ全面的ニ安心ノ行クヤウナ狀態ニマデ、警察機構ノ强化充實ヲ希望スル次第デアリマス、特ニ總選擧ノ取締ニ當リマシテハ、選擧運動ノ各般ニ付テ警察官ニ十分ナ知識ヲ教養セラレマシテ、取締上ノ萬遺憾ナキヲ期セラレタイコトヲ希望スル次第デアリマス

第二ノ問題ハ啓蒙運動デゴザイマス、本員員會ニ於テ論ゼラレマシタヤウニ、從來ノ啓蒙運動ハ動モ致シマスレバ選擧干渉ニ當ルヤウナ傾キガアツタノデアリマスルガ、結局啓蒙運動其ノモノノ罪デハナクテ、手段方法ノ宜シキヲ得ナイノト、實際啓蒙運動ニ當ル人ノ適否ガ啓蒙運動ノ效果ヲ擧ゲルカ

否カト云フコトニ歸著スルト思ヒマスルノデ、此ノ點ニ付テハ從來ノ實績ニ照サレマシテ、格段ノ御留意ヲ煩ハレンコトヲ希望スル次第デアリマス

第三ノ問題ハ、近ク行ハレル解散ニ依ル總選擧ノ趣旨ヲ國民ニ十分ニ徹底シテ戴キタイト云フ點デゴザイマス、從來ノ解散ニ依ル總選擧ト今回ノ總選擧ノ性質ノ違フ所ハ、本委員會ニ於テ明カニセラレタル所デアリマスルノデ、來ルベキ總選擧ニ當リマシテハ、此ノ總選擧ニ依ッテ構成セラレマシタル衆議院ガ、日本國民ノ自由ナル意思ニ基ク責任政治ノ根源デアル、自由ナル意思ニ基ク責任政治ガ此ノ總選擧ニ依ッテ確立セラレルモノデアル、ト云フ樣ナ意味ノ總選擧ノ御趣旨ヲ、凡ユル方面ニ於テ徹底ヲシ、ソレニ基ク總選擧ノ實施セラレマスルコトヲ切望スル次第デアリマス、以上ノ三點ヲ特ニ要望致シマシテ、御考慮ヲ願ヒタイト存ズル譯デアリマス

最後ニ、私ハ進歩黨ノ修正意見トシテ加ヘラレマシタル第三者ノ選擧運動ニ對シテ、內務大臣トシテノ御答辯ヲハッキリシテ置イテ戴キタイト思ヒマスノハ、進歩黨代表者ノ御意見ハ、本委員會ニ於テ應答セラレマシタル第三者運動ニ對シテノ內務省ノ方針ハ、無制限ニ第三者運動ヲ認メルト云フコトニ相成ッテ居リマスガ、本委員會ニ於テノ只今ノ要望ハ、第一ノ演說會ニ依ル選擧運動ハ候補者ノナス選擧運動ニ準ジテ自由デアル、第二ニハ文書ニ依ル運動ハ郵送ニ依ル推薦狀ノ運動ハ認メル、其ノ二點ヲ認メマシテ、他ノ第三者運動ハ禁止スルト云フコトノ條項ヲ、選擧法第百條ノ命令事項中ニ記入セラレルコトヲ要望スル意見ト承リマシタノデ、私モ其ノ意見ニ贊成ヲ致スモノデアリマスガ、ソレニ對スル內務大臣ノ御所見ヲ此ノ際明カニシテ置イテ戴キタイト思ヒマス……

○清瀨委員長　今ハ質問ノ時デハアリマセヌノデ、是ハ答辯ヲ求メルノハ無理デスカラ、何レ適當ノ時ニ何カ御表明ガアルト思ヒマス

○木下(義)委員　以上私本案ニ對シテノ意見ヲ開陳致シマシテ、討論ト致シマス

○清瀨委員長　是ニテ討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決ニ入リマス、採決前ニ順序ヲ申上ゲマス、本委員會ニ付託サレテ居リマスルモノハ三件アリマス、先ヅ衆議院議員選擧法中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、次ニ昭和十三年法律第八十四號中改正法律案ノ採決ヲ致シマス、最後ニ昭和二十年勅令第五百三十七號(衆議院議員選擧法第十二條ノ特例ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)ヲ採決致シマス、木下君、原夫次郎君、原夫次郎君ノ御三人ヨリ修正案ノ提出ガアリマス、委員長ノ手許ヘハ書面ニ認メタ案文トシテ出ッ居リマスカラ、只今御說明中ニ口頭ノコトデアリマスカラ、多少ノ言ヒ違ヒ等モアルト宜シクアリマセヌカラシテ、速記錄ニハ此ノ書面提出ノ案ヲ添付致シタイト思ヒマス、御了承ヲ願ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○清瀨委員長　是カラ採決スルニ當リマシテハ、木下君提出ノ御案ヲ假ニ社會黨案ト名付ケテ行キマス、原玉重君御提出ノ案ヲ自由黨案ト申スコトニ致シマス、原夫次郎君御提出ノ改正案ヲ進歩黨案ト名付ケマスカラ、略稱ヲ御承知置キ願ヒタイト思ヒマス、採決ノ方法ハ本院慣例デ色々アリマスガ、假令一項一目ト雖モ遺漏ガアッテハナリマセヌカラシテ、本委員會デハ逐條ヲ以テ採決致シマス、サウシテ本院ノ慣例ノ如ク共通ノモノハ之ヲ先ニ採決シ、共通ナラザルモノハ本案ニ最モ遠シト認メタモノヲ採決致シマス、少シタ數ニ亙リ御迷惑デセウガ、何卒暫ク御辛抱ヲ賜リタイト思ヒマス、少シ靜ク中上ゲディスカラ……

先ヅ政府提出ノ改正案第二十七條ニ社會黨、自由黨、進歩黨ヨリ各々改正ノ提案ガアリマス、自由黨ハ第二十七條ハ現行法通リトスト云フノデアリマス、社會黨ハ選擧人ハ政府原案中「左ノ區分ニ從ヒ」及ビ「又ハ數人」ヲ削ッテ一號乃至三號ヲ削除スト云フコトデアリマス、ソレカラ進歩黨ハ第一項ノ改正規定中「一人又ハ數人」及ビ同項ノ第一號ヲ削ッテ、同項第二號中ノ「六人以上」ヲ削リ、同項ヲ第一號トシテ三號ヲ第二號トスル、其ノ意味ハ社會黨、自由黨ハ單記移讓式ヲ採フレマスカラ單記投票ニ合フヤウニ、進歩黨ハ制限連記ヲ政府案ヲ改メテ出シタ結果デアリマス、社會黨ト自由黨ノ案ハ文字ハ違ヒマスケレドモ、略ミ同樣デアリマスルガ、全文削ルト云フ自由黨ノ案カ本案ニ遠シト認メテ之ヲ先ニシ、ソレカラ社會黨、進歩黨ト採決シマス、今設明致シマシタ自由黨案ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ願ヒマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　是モ少數デアリマス、

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　少數デアリマス、隨テ否決セラレマシタ、社會黨案ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ願ヒマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　是モ少數デアリマス、進歩黨案ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　多數デアリマス、仍テ此ノ修正ニ付テハ進歩黨案ガ可決致シマシタ(拍手)

次ニ第五十二條ノ改正ニナリマス、是ハ自由黨ハ五十二條ハ現行通リトスト、ソレカラ進歩黨ハ第一項ノ改正規定中「一人又ハ數人」及ビ同項ノ第一號ヲ削ッテ、同項第二號中ノ「六人以上」ヲ削リ、同項ヲ第一號トシテ三號ヲ第二號トスル、其ノ意味ハ社會黨、自由黨ハ單記移讓式ヲ採フレマスカラ單記投票ニ合フヤウニ、進歩黨ハ制限連記ヲ政府案ヲ改メテ出シタ結果デアリマス、社會黨ト自由黨ノ案ハ文字ハ違ヒマスケレドモ、略ミ同樣デアリマスルガ、全文削ルト云フ自由黨ノ案カ本案ニ遠シト認メテ之ヲ先ニシ、ソレカラ社會黨、進歩黨ト採決シマス、今設明致シマシタ自由黨案ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ願ヒマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　是モ少數デアリマス、隨テ否決セラレマシタ、社會黨案ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ願ヒマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ、五十二條ノ二ヲ採決ニ付シマス、五十二條ノ二ハ自由黨ハ之ヲ削除スルノデアリマス、社會黨モ削除スルノデアリマス、共通デアリマス、隨テ之ヲ先決致シマス、自由黨並ニ社會黨ノ削除ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ願ヒマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　多數デアリマス、否決サレマシタ、進歩黨ノ案ニ御贊成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　少數デアリマス、否決サレマシタ、進歩黨ノ案ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　多數デアリマス、五十二條ノ三ヲ採決ニ付シマス、五十二條ノ三ハ、社會黨並ニ自由黨ハ之ヲ削ルノデアリマス、之ヲ一括採決ニ付シマス、社會黨、自由黨案ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　少數デアリマス、本條ニ付テハ條文整理ノ外進歩黨ハアリマセヌ

次ニ五十八條ニ參リマス、五十八條ハ、自由黨ハ「地方長官ハ選擧長トナリ選擧ニ關スル事務ヲ擔任ス」ト云フコトデアリマス、大選擧區ヲ採ラレタ結果デアリマス、又社會黨ハ少シ長イノデス、「地方長官選擧長トナリ選擧會ニ關スル事務ヲ擔任ス但シ事情ニ依リ地方長官ハ他ノ官吏ヲシテ選擧長ニ指定スルコトヲ得」ニ改メル、斯ウ云フコトデアリマス、事實上同樣ナコトデアリマスガ、社會黨ノ案ニ贊成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔贊成者擧手〕

○清瀨委員長　少數デアリマス、否決サレマシタ、是ハ自由黨ト社會黨ノヲ改正案ガ出テ居リマス、自由黨ノ御案ハ、十四條但書ヲ削除デアリマス、社會黨ノ案ハ「第六十四條但書中「第五十八條第一項第三號」ヲ「第五十八條但書」ニ改ム」ト云フノデアリマス、自由黨ノ案ヲ先決致シマス、自由黨案ニ贊成ノ方ノ擧

手ノ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ、社會黨ノ御案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ、社會黨案ヲ採決ニ付シマス、御賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ、ソレカラ六十九條第一項ニ關スル問題ヲ採決致シマス、自由黨案ハ「第一項本文ヲ左ノ通リ修正ス、當選人ハ勅令ノ定ムル所ノ單記移讓式比例代表ノ方式ニ依リ決定ス」、是ハ重要ナコトデアリマス、ソレカラシテ社會黨ノ案ハ趣旨ニ於テハ同樣デアルト思ヒマスルガ、斯ウ云フ長イ條文ニナッテ居リマス、「有效投票中第一順位ノ當選者トシテ得タル者ヲ第一順位ノ當選者トシ其ノ得票中次順位ノ者トノ差數ヲ其ノ當選者ト同一政黨ニ屬スル次順位ノ者ノ得票數ニ加算シ其ノ加算シタル得票數ト前記次順位者ノ得票數トヲ比較シ第二順位ノ當選者トシ以下同一方法ニ依リ同一政黨、所屬ノ次順位得票者ニ第一順位以下ノ當選者ノ得票ヲ移讓シ定員數ニ達スル迄ノ得票ノ計算ヲ爲シ當選人ヲ決定ス」ト改メル、同條未項トシテ「議員候補者ハ第六十七條第一項ノ屆出ノ日ニ所屬スル政黨アルトキハ之ヲ選擧長ニ屆出ヅベシ、若シ右期日ニ本項ノ屆出ナキトキハ本條第一項ニ依ル得票ノ移讓ヲ受クルコトヲ得ザルモノトス」トノ一項ヲ加ヘルト云フノデアリマス、趣意ニ於テハ單記移讓式デアリマスルガ、勅令ニ委任シタノト此處ニ書イタノト違ヒマス、ソコデ自由黨ノ勅令委任ノ御案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ、社會黨ノ御案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ、七十九條第一項ノ政府案ニモ自由黨ノミノ修正案ガ出テ居リマス、ソレハ第三項ヲ削除シテ第五項ヲ次ノ如ク修正スルト云フコトデアリマス、「地方長官第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ關員ト爲リタル議員ガ選擧ノ期日ヨリ一年以内ニ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ第六十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラザリシ者アルトキ又ハ選擧ノ期日ヨリ一年經過後ニ於テ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラザリシ者アルトキ及同一人ニ關シ第七十五條ノ規定ニ依リ選擧ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外其ノ關員ノ數當該選擧區內ノ議員ノ定數ノ四分ノ一ニ達スルヲ待チ最後ニ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以內ニ補闕選擧ヲ行ハシムベシ」此ノ自由黨案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ、ソレカラ其ノ次ガ少シ煩雜ナモノデアリマスガ、一寸御辛抱願ヒマス、是ハ斯ウ云フ案デス、政府ノ原案ニ八十八條乃至九十七條削除、タッタ一行デスガ大キナ條文デス、八十八條乃至九十七條削除、ソコデ之ヲ檢討シテ見マスルト、八十八條ハ事務長ヲ置クノ規定デス、八十九條ハ事務所設置委員勞務者ノ規定デス、九十條ハ事務所ヲ一箇所ニ依リ三箇所トスル規定、九十一條ハ投票所カラ三町以內ニ事務所ヲ置カヌト云フ規定、九十二條ハ休憩所ニ關スル規定、九十三條ハ委員數ニ關スル規定、九十四條ハ地方長官ガ委員ノ解任ヲナシ得ル規定、九十五條ハ事務長ノ代理者ヲ置クノ規定、九十五條ハ二ハ事前運動禁止ノ規定、是ハ重要ナコトデス、九十六條ハ第三者運動ヲ演說ト文書ニ制限スルノ規定、九十七條ハ事務長、委員ノ實費辨償支給ノ規定デアリマス、政府ハ此ノ十箇條ヲ全面的ニ削除デアリマス、之ニ對シテ社會黨案ヲ檢討シテ見マスルト、事務長規定ノ八十八條ハ削除、事務所設置ノ規定モ削除、事務所一箇所ノ規定ハ選擧事務所ヲ選擧運動事務所ト云フ名前ニ改メテ存置、當日三町以內ニ選擧運動事務所ヲ置カヌト云ノ意味デ、文字ダケデ是モ現行法ヲ存置、委員數ノ規定ハ削除、勞務者ノ規定ハ削除、委員ヲ地方長官ガ解任スルト云フ規定ハ削除、事前運動ノ禁止規定ハ存置、第三者運動ヲ演說文書ニ制限スル規定ハ存置、事務長、委員ノ實費辨償ノ規定ハ存置、之ニ比ベマスルト進歩黨ノ案ハ、選擧事務長ノ規定ハ政府案ト同ジク削除、事務所設置ハ幾分意味ヲ違ヘテ即チ現行法ノ三箇所ヲ五箇所ニスルト云フコトニ於テ存置スル、當日三町以內ニ事務所ヲ置カヌト云フコトハ存置、休憩所規定ハ削除、委員數ノ規定モ削除、勞務者規定モ削除、地方長官解任ノ規定ハ削除、事務代理者規定ハ削除、事前運動ノ禁止規定ハ之ヲ存置、第三者運動ヲ演說會ト文書ニ制限スル規定ハ削除、事務長、委員ノ實費辨償規定ハ政府案ト同樣削除、之ヲ檢討シマスルト、社會黨案ガ原案ニ最モ遠イモノト認メラレマス、進歩黨ノ案ハ之ニ次グモノト認メマス、ソコデ社會黨ノ御提案ニ賛成ノ方ハ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ、進歩黨ノ提案ニ賛成ノ方ハ擧手ヲ願ヒマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數、可決致シマシタ、次ニ九十八條ノ第二項ノ政府案ニ對シテ社會黨ダケカラ提案ガ出テ居リマス、社會黨ノ提案ハ此ノ第二項ヲ、「何人ト雖モ投票ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサルノ目的ヲ以テ戶別訪問ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フ推薦狀、引札等ニ依ル選擧運動ハ自筆ノ文書ニ限ル」ト云フコトデアリマス、此ノ社會黨ノ提案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ

次ニ「第九十八條ノ二及第九十八條ノ三ヲ削ル」ト云フ政府原案ニ對シテ、進歩黨ノミヨリノ提案ガアリマス、此ノ條文ヲ「第九十八條ノ二中「第九十六條第一項但書ノ規定ニ依ル」ト云フ文字ヲ削リ、第九十八條ノ三ヲ削ルト云フノデアリマス、進歩黨ノ提案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ

次ニ「第十一章中第百一條ノ前ニ、左ノ二條ヲ加フ」ト云ッテ、此ノ百條ト百條ノ二ヲ政府ハ出シテ居リマス、之ニ對シテ進歩黨ノミノ提案ガアリマス、進歩黨デハ「第十一章中百一條ノ前ニ左ノ二條ヲ加フ」ヲ削リ「百條第五項ヲ次ノ如ク改メ「第百條」ヲ第百一條トス、「支出責任者ノ選任者（自ラ支出責任者ト爲リタル者ヲ含ム）ハ直ニ其ノ旨ヲ第八十九條第二項ノ屆出アリタル警察官署ニ屆出ヅベシ支出責任者ニ異動アリタルトキ亦同ジ」「第七項中「第百條ノ二」ヲ「第百一條ノ二」ニ改メ、同條第六項ヲ削リ「第百條ノ二」ヲ「第百一條ノ二」トス、「百一條中「立候補ノ屆出アリタル後ニ於テハ」ヲ「立候補準備ノ爲ニ要シタル費用及」ニ改メ、同條ヲ「第百一條ノ三」トス、斯ウ云フコトデアリマス、此ノ進歩黨ノ案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ、次ニ百四條ニハ自由黨ハアリマセヌガ進歩黨ト社會黨ヨリ提案

ガアリマス、百四條ノ社會黨ノ提案ハ費用ノコトデアリマスルガ、第百四條中、第一號、第二號、第三號、第四號ヲ左ノ通リ改ム

一　議員候補者ガ乘用スル船車馬等ノ爲ニ要スル費用

二　議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ゼズシテ支出シタル費用

三　選擧期日後ニ於ケル選擧運動ノ殘務整理ノ爲ニ要シタル費用

是ガ社會黨案デアリマス、進歩黨案ハ「第百四條中第三號ヲ左ノ如ク改ム「第六十七條第一項乃至第三項ノ罰則アリタル後議員候補者又ハ支出責任者ト意思ヲ通ジテ支出シタル費用以外ノモノ」ト、「同條第四號ヲ削ル」「第五號中「選擧事務長」ヲ「支出責任者」ニ改メ、同號第四號トスルノデアリマス、社會黨ノ案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デ否決サレマシタ、進歩黨ノ案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デ可決致シマス、ソレカラ百九條、是モ進歩黨ノミデ、條文ノ整理デアリマス「第百條ノ二」ヲ「第百一條ノ二」ニ改ム、擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、第百十六條ノ一項ニ進歩黨ノミノ提案ガアリマス、即チ「第一項中「選擧事務長」ヲ「若ハ選擧委員」ヲ「若ハ選擧運動者」ニ改ム」トスルコトデアリマス、賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ

百二十四條ト百二十五條ノ削除、是ハ例ノ氣勢ヲ張ル行爲ト不正ノコトヲ煽動スル條文デアリマス、自由黨ト進歩黨ハ共通ニ政府ノ削除ヲ削除スル、現行法通リデアリマス、賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デ可決致シマシタ

百二十六條ニハ、進歩黨ハ「政府ノ改正規定ヲ削ル」ノデアリマス、是ハ前條ガ生キルカラ之ヲ削ツテ宜イコトニナルノデス、是ハ條文ノ整理デアリマス、擧手ヲ願ヒマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマスカラ可決致シマシタ

百二十九條、是ガ少シ煩ハシイコトデス、百二十九條ハ、事前運動ヲ處罰スルコトト、ソレカラ運動ハ法定運動者ノミデアルノニ、ソレ以外ノ者ガヤツタノヲ處罰スルコトト、戸別訪問ヲ處罰スルノト、ソレカラ公報配布ノ區域内ニ規定ニ違反シテ文書ヲ頒布シタ者ヲ處罰スルノト、ソレカラ事務所ノ閉鎖命令ニ違反シタル者ヲ處罰スルノデアリマス、政府原案ハ其ノ中デ戸別訪問處罰ダケヲ存シテ、事前運動、法定運動者以外ノ運動、文書頒布、閉鎖命令違反ヲ全面的ニ削除シテ居ルノデアリマス、然ルニ社會黨案ハ事前運動ノ禁止ハヤハリ置イテ、其ノ結果事前運動ヲ處罰スル、戸別訪問ハ處罰スル、進歩黨ハ事前運動ハ處罰スル、ソレカラ法定運動者ノコトハヤハリ削除、戸別訪問ハ處罰スル、文書頒布ノコトハ處罰スル、事務所閉鎖命令ニ從ハヌ者モ處罰スルト云フコトデアリマス、進歩黨ノ處罰規定ガ一番大デアリマス、其ノ次ニ社會黨デアリマス、其ノ中進歩黨ガ原案ニ一番遠イノデアリマスカラ、進歩黨ノ案ヲ先ヅ採決致シマス、進歩黨ノ案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ、隨テ社會黨ノ案ハ採決ノ必要ガナクナリマシタ、此ノ中ニ含ンデシマツテ居リマス、念ノ爲ニヤリマセウカ

〔「要リマセヌ」「進行」ト呼ブ者アリ〕

○清瀬委員長　百三十條、百三十條ハ進歩黨ノミヨリ改正ノ案ガアリマス、是ハ政府ハ削除シテ居リマスルノヲ、「百三十條第二項ヲ削ル」ト云フコトニ改メタノデアリマス、進歩黨ノ案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ

百三十一條、進歩黨ハ政府ノ改正規定ヲ削ル、即チ現行法ガ生キテ行クノデアリマス、進歩黨ノ案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ

百三十二條、是ハ政府ノ原案ヲ進歩黨ガ斯ウ云フ風ニ改メテ居リマス、百三十二條第一項中「第八十八條第五項乃至第七項又ハ第八十九條第四項」ヲ「第八十九條第二項又ハ百一條第五項若ハ第六項」ニ改ム」是ハ前ニ改メタ結果デ、整理デアリマス、賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、進歩黨案ガ可決致シマス

百三十四條、是ハ進歩黨ダケノ案デス、「百三十四條中「第百一條」ヲ「第百一條ノ三」ニ改メ、「一年以下ノ禁錮」ノ下ニ「又ハ五百圓以下ノ罰金」ヲ加フ」、此ノ進歩黨ノ案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ

進歩黨カラハ百三十七條ノ政府ノ改正規定ヲ削ルノ案ヲ出シテ居リマス、之ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ

ソレカラ進歩黨カラ、「百四十條第一項中「事務長」ヲ、推薦者」ニ改ム」ト云フ政府ノ原案デアリマスガ、此ノ原案ソレ自身ハ宜イノデアリマスケレドモ、百四十條中ノ現行規定中ニ次ノ二項ヲ加ヘル案ヲ出シテ居リマス、ソレハ「地方長官ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ議員候補者ノ氏名、黨派別等ヲ新聞紙ニ公告スベシ、市町村長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ議員候補者ノ氏名等ノ掲示ヲ爲スベシ」、所謂選擧公營擴張ノ規定デアリマス、進歩黨ノ此ノ案ニ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、是亦可決致シマシタ

進歩黨ヨリ附則ノ一番末項ニ沖繩縣デ最初ニ選擧スル場合ニ選擧方法其ノ他必要ナル事項ハ勅令ニ之ヲ委任スルト云フ附則ノ改正ヲ出シテ居リマス、賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　多數デアリマス、可決致シマシタ——最後ニ社會黨及ビ自由黨雙方カラ東京以下七ツノ都道府縣ニ於テ、一都道府縣ヲ二ツ三ツニ割ツテ選擧區ヲ作ルノヲ止メテ、全都道府縣ヲ一選擧區ニスル旨ノ選擧區別表ノ改正案ガ出テ居リマス、是ハ全ク共通デアリマス、仍テ自由黨及ビ社會黨ノ別表ニ對スル改正案ニ付キ賛成ノ方ノ擧手ヲ求メマス

〔賛成者擧手〕

○清瀬委員長　少數デアリマス、否決サレマシタ——之ヲ以テ三派ノ修正ノ案ニ付テハ採決ヲ終リマシタガ、修正部分ヲ除キタル原案ニ付テハ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○清瀬委員長　異議ナシト認メマス、仍テ修正部分ヲ除キ原案ハ其ノ通リ可決致シマシタ——是テ衆議院議員選擧法中改正法律案ノ採決ハ終リマシタ

次ニ昭和十三年法律第八十四號中改正法律案即チ（大東亞戰爭ニ際シ召集中ノ者ノ選擧權及被選擧權等ニ關スル件）ニ付テ採決致シマス原案ニ賛成ノ方ハ御起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○清瀬委員長　起立總員、仍テ本案ハ可決致シマシタ

次ニ昭和二十年勅令第五百三十七號（衆議院議員選擧法第十二條ノ勅令ニ關スル件）ヲ議題ト致シマス、本案ニ承諾ヲ與フルニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○清瀬委員長　御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ

以上ヲ以テ此ノ委員會ニ付託サレマシタ議案ハ全部議事ヲ終了致シマシタ、諸君ノ連日ノ御努力ヲ感謝致シマス（拍手）此ノ際內務大臣ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス——內務大臣

○堀切國務大臣　只今委員會ノ御決定ニ依リマシテ、政府ノ原案ト大分差異ヲ生ジマシタコトヲ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、御決定ニナリマシタ連記制ノ問題ニ付キマシテハ、伺ッテ居リマシテ、是ガ本當ニ擧ヲ得テ居ルカドウカヲ少シ疑フノデアリマスガ、尙ホ沖繩縣ハ御承知ノヤウニ定員ガ二名デアリマスカラ、之ニ對シテ連記制ヲ執ルコトハ出來マセヌ、隨テ是ハ施行令ノ方ノ勅令改正デ以テ決メルト云フ御趣意デアルカト存ジマスガ、最モ重大ナル選擧ノ方法マデモ勅令ニ讓ッテシマフト云フコトニ付キマシテハ、大イニ疑義ヲ持ッ次第デアリマス、其ノ外大體選擧ノ運動ニ付キマシテ、原案ノ趣意ガ御承知ノヤウニ出來ルダケ選擧ヲ自由ニ明朗潤達ニサセヨウト致シマシタ關係カラ、從來或ハ選擧干渉ノ原因ニナルトカ、色々煩雜ナ、一般國民ヲシテ選擧ニ對シテ興味ヲ惹カズ、寧ロ逃避的態度ニ出サシメマシタヤウナ色々ナ點ヲ、出來ルダケ選擧ヲ自由潤達ニ明朗ニサセヨウトスル趣意カラ出テ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ對シマシテ、又此ノ委員會ノ皆樣ノ多數ガ色々ト之ヲ制限スル、現行法ニ幾ラカ引戻スヤウニ致サレマシタ點ニ付キマシテモ、大體ニ於テ贊成シ難イヤウニ考ヘラル、ノデアリマス、尙ホ先刻木下君カラ御質疑ノアリマシタ第三者運動ヲ命令ヲ以テ更ニ制限スルト云フコトニ付キマシテハ、ドウモ是モ贊成致シ難イヤウニ、只今考ヘテ居ル次第デアリマス、選擧ノ公營ノ擴充ノ問題ニ付キマシテハ、更ニ十分ニ研究ヲ致シマシテ、是ハ出來ルダケ出來ルヤウニ考ヘテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ點申上ゲテ置キタイト思ヒマス

○清瀬委員長　是ニテ散會致シマス

午後三時四十五分散會

昭和二十一年二月四日印刷
昭和二十一年二月五日發行
衆議院事務局
印刷者　印刷局